

あいち農産物生産流通レポート

2024年4月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・「三河漆」の復興と新たな挑戦 (西三河農林水産事務所)	1
◎ 東日本情報	
・農林水産省調査分析委託事業の成果発表会が開催されました (東京事務所)	2
◎ 西日本情報	
・地産地消あいちSDGs推進キャンペーンについて (食育消費流通課)	4
・2024年度愛知県産地交付金について (園芸農産課)	6
◎ 青果	
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し	10
◎ 花き	
・切花・鉢花の4月の見通し(県内市場)	22

※今月「情報サロン」、「フラワーページ」はありません

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

「三河漆」の復興と新たな挑戦

西三河農林水産事務所

国内で漆器づくりなどに用いられる漆の約9割は中国など海外からの輸入で、漆の国内生産量は約1.7トン、その約8割が岩手県産です(令和4年特用林産物生産統計調査)。また、漆が採取できるようになるまでには、ウルシの苗を植樹してから約15年かかり、1本の木から一生のうちに採れる漆の量はわずか約200グラムといわれています。

文化庁の方針で、2018年度から国宝や重要文化財建造物の保存修理には原則として国産漆を使用することとなりましたが、保存修理には年間で約2.2トンの漆が必要だといわれており、国産漆の需要は高まっています。

1 「岡崎漆プロジェクト」の取組

三河地方は、かつて三河漆の産地として有名でした。三河地方を代表する戦国武将家康公をはじめとした三河武士が身に着けていた甲冑などにも、漆が使われていました。その三河漆を復興するために、2021年11月に、岡崎市をはじめ、地域、大学、研究機関、民間企業及びNPO等が協力して「岡崎漆プロジェクト」を発足させ、2023年には額田地区に約3,000本のウルシの苗が植えられました(写真1)。2024年も継続して植樹を予定しています。



写真1 ウルシ苗の植樹

2 「合同会社 ELEMUS (エレムス)」の取組

「岡崎漆プロジェクト」のメンバーである合同会社ELEMUSは2019年に設立し、ウルシ苗の栽培、「サスティーモ®」(木粉と漆を原材料とする100%バイオマス成形原料)の製造及びその「サスティーモ®」粉体(写真2)の成形製品の販売などを行っています。



写真2 「サスティーモ®」粉体

合同会社ELEMUSは、東京都立産業技術センターが約20年をかけて構築した「サスティーモ®」の特許技術を継承し、独自の製造方法で特許を取得しました。現在では、世界5カ国で特許を取得しており、「サスティーモ®」成形製品の輸出も視野に入れています。さらに、学校給食用の食器等への導入についても関係機関等と調整しており、近い将来には箸や食器に使われるかもしれません。

また、昨年、岡崎市のふるさと納税返礼品に大河ドラマ「どうする家康」ロゴライセンス品のぐい呑み(「サスティーモ®」の成形製品)が登録され(写真3)、大河ドラマの出演者にも贈呈し、PRしました。



写真3 ふるさと納税返礼品

農林水産省調査分析委託事業の成果発表会が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2024年3月8日(金)にアットビジネスセンター東京八重洲通り(東京都中央区八丁堀)において「令和5年度小売における量り売りの実施可能性及び加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドラインに係る調査分析委託事業・事業成果発表会」(主催:一般社団法人日本施設園芸協会)が開催されましたので、その一部を紹介します。

1 青果物の量り売りに関する調査結果について

小売における量り売りは、食品ロスやプラスチック包材の使用量削減に繋がる取組であり、米国や欧州では標準的となっていますが、日本では導入が進んでいません。このため、量り売りの実施可能性の調査が行われ、その結果報告が行われました。

(1) アンケートおよびヒアリング調査報告について

講師:株式会社流通研究所 常務取締役 有山 公崇 氏

- ・小売店に対して調査を行った。青果物の量り売り推進に対する考えは「賛同する」が71.6%、「賛同しない」が26.7%であった。賛同する理由は「従来の規格品と比べて、簡素化により仕入価格が下がるようであれば」が65.1%で最も多かった。賛同しない理由は「販売時の作業負担が増えそうだから」が67.7%で最も多かった。
- ・青果物の量り売り販売での無選別、サイズ込み規格の取扱い意向は「(現時点で)あり」が56.9%、「(将来的には)あり」が32.8%であった。

(2) 青果物量り売り実証結果報告

講師:株式会社フルックス 青果流通事業本部 まいど事業部 次長 杉林 克年 氏
株式会社流通研究所 執行役員 上田 諭 氏

- ・実施結果では、試し量りを希望される、ばら売りの値段との勘違いが多い、詰め放題と勘違いする人が多い等が明らかとなり、量り売り推進にはお客様の認知度向上が必要と考えられた。
- ・量り売りを利用した人の満足度は「サイズを選べる点」、「好きな量を買える点」で『満足』と『やや満足』を合わせると95%超であった(図1)。
- ・量り売りを利用しなかった人の理由は「欲しい品目が無かったから」が33.3%、「量るのが面倒だったから」が28.2%、「いくらになるのか分からなかったから」が25.6%であった(図2)。



図1 量り売りを利用した人の満足度



図2 量り売りを利用しなかった理由

(いずれも成果発表会資料より引用)

- ・量り売りを利用した人の『今後の利用意向』は「利用したい」が61.8%、「積極的に利用したい」が30.9%であった。量り売りを利用していない人の『今後量り売り店舗が増えた場合の利用意向』は「利用したい」が46.2%、「どちらでもない」が33.3%であった。

2 加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドライン 2023 について

本ガイドラインに関連する内容として、下記の報告が行われました。

(1) 加工・業務用野菜のサプライチェーン強靱化に向けて

講師：農林水産省 園芸作物課 園芸流通加工対策室 室長 宇井 伸一 氏

- ・直近の統計（2021年）では、ブロッコリー、かぼちゃ、えだまめの3品目はいずれも輸入量が5万t超、輸入シェア20%以上となっている。
- ・これら品目の輸入量が多い主な要因は、ブロッコリーは冷凍需要に十分対応できていない、かぼちゃは生食用、加工・業務用ともに端境期の輸入量が多い、えだまめは端境期に冷凍輸入品が流通していることである（表1）。冷凍加工施設の整備や冷凍加工・貯蔵による国産の通年供給体制の整備等により国産シェアを伸ばすことは可能である。

表1 野菜の国産と輸入の価格、国産転換の方策（成果発表会資料より引用）

	国産価格（生鮮） （円/kg）	輸入価格（円/kg）		最大輸入先・ 平均輸入量 （2018～2022）	国産転換の方策
	（2018～ 2022）	2018～ 2021	直近（2022）		
たまねぎ	116	51	87	中国（生鮮） 24万トン	・7品目のうち最も輸入量が多いが、機械化が進んでいる品目の1つでもある ・輸入価格が一段と高くなり、内外価格差が縮小。 ・実需者の国産受入体制の整備が課題。
にんじん	138	46	61	中国（生鮮） 8万トン	・生鮮で輸入されたものは主に、サラダやジュース等に加工される。 ・安定供給に向けて、産地の生産性向上及び実需者の国産受入体制の整備が課題。
ねぎ	343	132	166	中国（生鮮） 5万トン	・機械化が進んでいる品目であるが、安定供給に向け、実需者の国産受入体制の整備が課題。
かぼちゃ	224	100	128	ユーロ-ラド（生鮮） 5万トン	・生食用、加工・業務用ともに主に晩秋から春先の端境期に輸入量が増加し、主に生鮮のまま輸入。 ・機械収穫しやすい品種や収穫機の開発も進んでいるため、これらを導入した産地の育成及び端境期供給を可能とする冷凍加工・貯蔵による通年供給体制の整備が課題。
えだまめ	853	227	280	台湾（冷凍） 3万トン	・国産は夏場のみ出荷されており、端境期には冷凍輸入品が流通。 ・冷凍加工・貯蔵による国産の通年供給が実現すれば、端境期における国産切り替えが可能であり、国内産地の育成及び冷凍加工貯蔵施設の整備が課題。
ブロッコリー	386	242	272	中国（冷凍） 3万トン	・近年、国産の出荷量が拡大し、生鮮は徐々に輸入品からシェア奪還。一方で、冷凍需要には十分対応できておらず、冷凍については輸入品が大きなシェア。 ・冷凍の奪還に向け、産地における大型品種の導入等の生産性向上及び冷凍加工施設の整備が課題。
ほうれんそう	523	159	217	中国（冷凍） 5万トン	・九州を中心に冷凍加工工場を中核とした産地体制が確立。 ・今後、これらの全国展開が課題。

資料 国産価格：東京都中央卸売市場価格、輸入価格：財務省貿易統計

(2) 加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドライン 2023 について

講師：野菜流通カット協議会 会長 木村 幸雄 氏

- ・「加工・業務用野菜の生産・流通の手引き」（2017年度）に掲載されている主要10品目（きゅうり、ねぎ、トマト、キャベツ、レタス、だいこん、ほうれんそう、たまねぎ、にんじん、はくさい）を改定し、ブロッコリー、かぼちゃ、えだまめを新たに追加した。
- ・今回の改訂では、販売提案書や各種生育障害画像等を加え、より分かりやすくなった。生産・調製方法や出荷形態等のほか、貯蔵に関するデータ等が取りまとめられているので参考にしてほしい。（掲載予定 URL）<https://www.vedica.jp/about/books>

今回の成果発表会では、国が小売における青果物の量り売りと加工・業務用野菜の国産シェア拡大に力を入れていることが分かりました。これらの取組はSDGsにもつながる内容なので、SDGsの目標達成という観点からも重要な取組であると考えられます。

地産地消あいちSDGs推進キャンペーンについて

食育消費流通課

本県では、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になっていただくとともに、県産農林水産物をもっと食べたり、利用していただく地産地消の取組である「いいともあいち運動」を1998年度から進めています。

地産地消は、食材の輸送に伴う二酸化炭素の排出を削減し、環境に配慮した消費（エシカル消費）につながるなど、SDGsの推進にも貢献する取組です。

そこで、県民の皆様へ地産地消のより一層の浸透を図るため、2022年度から「地産地消あいちSDGs推進キャンペーン」を実施しています。

1 「地産地消あいちSDGs推進キャンペーン」について

2005年に開催された愛・地球博の公式キャラクター「モリゾー・キッコロ」をアンバサダーとして起用し、公募により選定した「そのひと口が応援になる。」をキャッチフレーズとして、「地産地消の『理解』を深める取組」と「地産地消の『実践』を促す取組」の両面から取組を進めています。



啓発資材（ポスター）

2 キャンペーンの内容

(1) 2023年度の取組

ア デジタルプロモーション

地産地消とSDGsの関連性や県産農林水産物の魅力等を発信するため、「いいともあいち運動」の趣旨や本県のブランド和牛「みかわ牛」、カンキツ新品種「夕焼け姫」等の魅力を紹介する動画を作成し、利用者の多いSNS等を活用してPRを行いました。昨年9月の配信開始からの合計再生回数は64万回を超えており、非常に多くの皆様に「地産地消」に対する理解を深めていただくことができました。

また、小学生を対象とした取組として、県内の公立小学校で全ての児童に配布される「こども新聞」に啓発記事を掲載しました。



SNSでの動画配信



新聞社発行「こども新聞」での記事掲載

イ いいともあいち地産地消デジタルスタンプラリー

普段の食生活の中でSDGsの推進にも貢献できる地産地消の実践を促すため、「いいともあいち推進店」となっている飲食店や販売店等を巡るデジタルスタンプラリーを実施しました。今年度は、新たに大手量販店等の参加を得て、昨年度の156店舗を大きく上回る541店舗で実施しました。9月から5か月間で、延べ1万8千人以上に参加いただくなど、多くの賛同を得て、地産地消の実践を推進しました。

また、キックオフイベントとして安城産業文化公園デンパークで実施した「いいよね!愛・地産フェア」において、知事や「モリゾー・キッコロ」、チアグランパスが県民の皆様へ地産地消と県産農林水産物の利用を呼びかけました。



デジタルスタンプラリー（ポスター、実施状況）

いいよね!愛・地産フェア（2023年9月16日）

ウ 民間企業による「いいともあいち運動」の広がり

- イオンリテール（株）により、「いいともあいちフェア」が継続的に開催され、県産農林水産物の販売促進を実施（2013年～毎年開催）
- （株）セブン-イレブン・ジャパンにより、県産農畜産物を使用した商品を販売する「いいともあいち応援フェア」が7月と10月に大々的に開催され、地産地消をPR（2023年度）
- 伊藤忠食品（株）が開催したBtoB展示会「FOOD WAVE 2023 NAGOYA」で地産地消コーナーが設置され、「いいともあいち運動」や県産農林水産物をPR（2022年度、2023年度）
- この他にも、「いいともあいち運動」を核として民間企業が相互に連携し、独自の企画が展開されるなど、県産農林水産物の販売促進等を実施
- 事業者からの届出に基づき、シンボルマークを表示している商品数1,539商品（2024年1月現在）



民間企業による取組の様子

(2) 2024年度取組

さらに広く県民に地産地消の理解を一層深めるために、今年度好評を得た動画のバリエーションを拡大するとともに、量販店に設置したデジタルサイネージを用いたデジタルプロモーションを実施します。

また、実践を促すことを目的としたデジタルスタンプラリーについて、参加店舗においてメニューフェアを実施するなど、働き盛りや若い世代に向けたプロモーションの強化を図り、継続して実施します。

2024 年度愛知県産地交付金について

園芸農産課

1 産地交付金の概要

産地交付金とは、食料自給率向上を目的に、水田における主食用米以外の作物栽培を推進するための水田活用の直接支払交付金に係る支援策のひとつであり、地域の作物振興の設計図となる「水田収益力強化ビジョン」に基づき、特色ある魅力的な産地づくりに向けた取組を支援します。水田収益力強化ビジョンは県と各地域農業再生協議会がそれぞれ作成しています。

2 水田活用の直接支払交付金の交付申請手続き等について

交付対象者は販売農家又は集落営農であり、交付申請者は生産年の6月30日までに交付申請書を地方農政局又は地域農業再生協議会へ提出します。

3 2024 年度愛知県産地交付金について

「2024 年度愛知県水田収益力強化ビジョン」では以下の11の取組を独自に支援します。

(1) 麦類の先進技術の取組（カットドレーン）

麦類の収量の高位安定化を目指すため、先進的な排水対策技術であるカットドレーンを実施した麦類の作付に対し支援します。

(2) 大豆の生産安定

大豆の収量向上・安定化を目指すため、①土壌改良剤の散布、②排水対策（暗渠）の実施、③殺虫剤の散布（鱗翅目類）の3つの取組のうち1つ以上の取組を行った大豆の作付に対し支援します。

(3) 飼料用米の作付推進

需要に応じた米生産を推進するため、直播栽培や土づくり（堆肥の施用、ケイ酸質資材の施用）等の8つの取組のうち1つ以上の取組を行った飼料用米の作付に対し支援します。

(4) 米粉用米の作付推進

小麦代替として注目が集まっている米粉用米の作付を推進します。直播栽培や土づくり（堆肥の施用、ケイ酸質資材の施用）等の8つの取組のうち1つ以上の取組を行った米粉用米の作付に対し支援します。

(5) 飼料用米の複数年契約

飼料用米の安定的な供給のための複数年契約（2024年産からの3年間以上の契約）の取組に対し支援します。

(6) 米粉用米複数年契約

米粉用米の安定的な供給のための複数年契約（2023及び2024年産からの3年間以上の契約）の取組に対し支援します。

(7) 加工用米複数年契約

加工用米の安定的な供給のための複数年契約（2022年産からの3年間以上の契約）の取組に対し支援します。

(8) 稲WCSの作付推進

輸入飼料価格の高騰による国産飼料の需要の高まりを受け、稲WCSの作付を推進します。直播栽培や土づくり（堆肥の施用、ケイ酸質資材の施用）等の5つの取組のうち1つ以上の取組を行った稲WCSの作付に対し支援します。

(9) 飼料用とうもろこしの作付推進

輸入飼料価格の高騰による国産飼料の需要の高まりを受け、需要者との利用協定を締結した飼料用とうもろこし（子実用とうもろこし、青刈りとうもろこし）の作付に対し支援します。

(10) 牧草の作付推進

輸入飼料価格の高騰による国産飼料の需要の高まりを受け、需要者との利用協定を締結した牧草（ソルゴー、イタリアンライグラス、エンバク）の作付に対し支援します。

(11) 新市場開拓用米複数年契約

新市場開拓用米の安定的な供給のための複数年契約（2022年産からの3年間以上の契約）の取組に対し支援します。

注. 各メニューは国からの計画認定前の内容ですのでご注意ください。2024年度水田収益力強化ビジョンの詳細については、各地域農業再生協議会へお問い合わせ下さい。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下
 わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋市中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2023年実績	1,275	595 (47%)	323	292	愛知 (47%) 静岡 (46%)
2024年見通し	1,270	—	320	—	茨城 (4%)
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
【概要】 愛知、静岡、茨城を中心に入荷する。作付面積は例年並。高温傾向により生育は苦戦気味だが、給食需要により引き合いが強く、高値推移となる見込み。 【見通し】 入荷量：前年並。(△0.4%) 価 格：前年並。(△0.9%)			愛知は生育順調で品質も良好であるが、高温傾向で傷みが出やすいため、適期収穫を心掛け、品質維持を徹底していただきたい。 業務や給食向けの需要が回復してきたので、今後も栽培面積の維持と、安定出荷をお願いしたい。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：さやえんどう）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2023年実績	1,434	292 (20%)	1,358	1,431	鹿児島 (20%) 愛知 (20%)
2024年見通し	1,350	—	1,400	—	熊本 (11%)
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
【概要】 3月は潤沢な入荷量となり、愛知は平年並、熊本はLサイズ中心で平年より多くなった。4月は暖冬の影響で前進出荷となり、山谷の少ない入荷が見込まれる。 【見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.9%) 価 格：前年をやや上回る。(△3.1%)			ハウス栽培である愛知県に対しては、安定供給の期待が大きく、今後も作付面積を維持して、安定した供給、品質の維持をお願いしたい。 スナップエンドウは数量の増減の幅が大きいため、安定供給に努めてもらい、できれば増産をお願いしたい。		

※さやえんどうに、きぬさやえんどう、スナップエンドウ、砂糖えんどう、オランダさやを含む。

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋市中央卸売市場

3月14日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2019年	35,781	217	226	225	201	愛知 27%
	2020年	35,876	237	239	245	227	北海道 15%
	2021年	38,309	213	218	204	217	茨城 12%
	2022年	33,504	251	258	251	245	鹿児島 7%
	2023年	30,623	249	261	243	244	徳島 7%
	5カ年平均	34,819	233	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	31,400	239	—	—	—	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 愛知、北海道などから入荷する。葉茎菜類および果菜類の一部の品目で、高温の影響により前進出荷の産地がみられる。どの品目も概ね生育順調。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.5%) 価格：前年をやや下回る。(△4.0%)						
	だいこん	2019年	2,186	92	96	111	75
2020年		1,608	118	129	111	120	愛知 33%
2021年		2,173	78	73	81	88	鹿児島 14%
2022年		2,026	102	99	119	96	静岡 1%
2023年		1,728	101	91	108	108	長崎 1%
5カ年平均		1,944	97	96	105	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し		1,700	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 千葉、愛知を中心に鹿児島からも入荷する。愛知産は中旬以降に徐々に増加し、ピークを迎える見込み。高齢化で作付面積は微減傾向。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.6%) 価格：前年並。(△1.0%)							
にんじん		2019年	2,321	122	109	127	128
	2020年	2,434	152	177	148	136	愛知 1%
	2021年	2,429	167	168	164	170	中国 1%
	2022年	2,034	133	126	127	144	
	2023年	1,869	174	165	172	185	
	5カ年平均	2,217	149	149	147	152	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	2,000	160	160	160	160	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 ほぼ全量を徳島から入荷する。概ね生育良好で安定した出荷見込み。4月上旬から給食需要により、価格が上昇する見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(7.0%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(△8.0%)						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2019年	1 2 8, 9 2 1	2 4 2	245	253	226	茨城 16%
	2020年	1 2 4, 5 9 7	2 5 8	256	259	258	千葉 15%
	2021年	1 2 8, 1 0 1	2 3 5	226	236	246	北海道 8%
	2022年	1 1 8, 7 5 4	2 7 2	268	278	270	神奈川 7%
	2023年	1 1 0, 6 5 3	2 7 5	271	276	258	愛知 7%
	5ヵ年平均	1 2 2, 2 0 5	2 5 6	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	1 1 7, 0 0 0	2 7 0	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)			単価(円/Kg)		
【産地状況】 果菜類の入荷は気温上昇とともに増加。レタスとはくさいは3月の出回りが少なかったが、気温上昇とともに回復する見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(5.7%) 価格：前年並。(△1.8%)							
だいこん	2019年	9, 9 8 2	9 6	93	112	81	千葉 80%
	2020年	9, 4 8 7	1 1 2	108	107	122	茨城 10%
	2021年	1 0, 2 0 7	6 9	59	68	84	神奈川 7%
	2022年	9, 4 3 0	9 6	88	110	90	福岡 2%
	2023年	8, 4 5 5	9 9	83	113	108	
	5ヵ年平均	9, 5 1 2	9 4	86	101	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	8, 8 0 0	9 5	100	90	95	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)			単価(円/Kg)		
【産地状況】 入荷先の主体は千葉となる。前進傾向だった生育は3月の低温で例年のペースに近づいている。入荷は十分な量を見込む。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(4.1%) 価格：前年をやや下回る。(△4.0%)							
にんじん	2019年	7, 8 4 4	1 2 1	108	127	128	徳島 84%
	2020年	9, 2 6 5	1 5 8	179	154	145	千葉 4%
	2021年	8, 4 4 5	1 6 3	155	160	173	静岡 3%
	2022年	7, 3 1 5	1 2 7	118	124	136	北海道 3%
	2023年	6, 8 5 1	1 7 3	160	174	191	新潟 1%
	5ヵ年平均	7, 9 4 4	1 4 9	145	148	154	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	6, 9 0 0	1 7 0	175	165	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)			単価(円/Kg)		
【産地状況】 入荷先の主体は徳島となる。入荷量は、上旬は播種期の天候不順の影響で少ないが、中旬以降は漸増する見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.7%) 価格：前年並。(△1.7%)							

名古屋市中央卸売市場

3月14日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
かい さ い	2019年	2, 233	76	79	88	61	茨城 75%
	2020年	2, 646	199	155	192	244	愛知 7%
	2021年	2, 400	50	50	49	54	三重 7%
	2022年	2, 114	77	106	76	56	長崎 4%
	2023年	2, 039	93	82	87	113	兵庫 3%
	5ヵ年平均 2024年見通し	2, 286 2, 050	102 90	96 90	101 90	110 90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 茨城を中心に愛知、三重などから入荷する。各産地とも前進傾向。気温の上昇とともに量販店において売場の縮小が予想される。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.5%) 価格：前年をやや下回る。(△3.2%)							
キャ ベ ツ	2019年	3, 797	85	93	94	73	愛知 95%
	2020年	3, 846	136	106	139	158	静岡 1%
	2021年	4, 569	73	63	79	79	神奈川 1%
	2022年	4, 327	98	105	116	83	三重 1%
	2023年	4, 249	99	95	106	101	兵庫 1%
	5ヵ年平均 2024年見通し	4, 158 4, 200	97 98	92 100	106 100	98 95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 愛知を中心に、静岡などから入荷する。愛知産冬キャベツは終了近く、新キャベツが中旬以降増加する見込み。天候次第で入荷にバラツキあり。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.2%) 価格：前年並。(△1.0%)							
ほう れ ん そ う	2019年	345	449	500	510	364	岐阜 49%
	2020年	305	572	539	617	568	茨城 30%
	2021年	366	465	382	526	534	愛知 17%
	2022年	271	500	458	508	533	静岡 2%
	2023年	262	582	529	617	600	長野 1%
	5ヵ年平均 2024年見通し	310 280	508 550	477 550	553 550	514 550	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 岐阜、茨城を中心に入荷する。愛知、岐阜の平坦産地は前進傾向で切上がり早い予想。露地物が終了し、高冷地物の入荷が始まる見通し。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(6.9%) 価格：前年をやや下回る。(△5.5%)							

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	2019年	6,399	74	77	84	58	茨城 99%
	2020年	6,485	188	158	187	215	長崎 1%
	2021年	6,485	41	37	41	45	
	2022年	5,995	77	123	73	48	
	2023年	5,307	86	79	83	112	
	5ヵ年平均	6,134	94	95	94	96	
2024年見通し		5,400	85	90	80	85	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)					単価(円/Kg)
【産地状況】 入荷先の主体は茨城となる。入荷量は、気温上昇とともに生育が進み3月の不足気味が消し、中旬にピークとなる見込み。							
【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.8%) 価格：前年並。(△1.2%)							
キヤベツ	2019年	19,148	90	90	103	73	神奈川 42%
	2020年	17,728	139	121	137	164	愛知 34%
	2021年	19,917	70	60	73	78	千葉 20%
	2022年	19,358	106	111	121	88	茨城 1%
	2023年	17,438	106	99	111	113	群馬 1%
	5ヵ年平均	18,718	101	96	108	102	
2024年見通し		17,500	105	110	100	105	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)					単価(円/Kg)
【産地状況】 入荷先の主体は神奈川、愛知、千葉となる。入荷量は、神奈川産は上旬にピークとなり、愛知産は冬系が漸減する。							
【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.4%) 価格：前年並。(△0.9%)							
ほうろ	2019年	1,299	425	495	491	311	茨城 45%
	2020年	1,260	559	545	591	545	群馬 38%
	2021年	1,421	428	348	532	430	埼玉 7%
	2022年	1,322	468	447	484	472	栃木 4%
	2023年	1,232	529	522	573	398	千葉 3%
	5ヵ年平均	1,307	480	468	533	431	
2024年見通し		1,250	450	470	440	440	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)					単価(円/Kg)
【産地状況】 入荷先の主体は茨城、群馬となる。中旬から夏秋産地が漸増し、下旬には秋冬産地の終盤と重なり荷動きが鈍くなる見込み。							
【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.5%) 価格：前年をかなり下回る。(△14.9%)							

名古屋市中央卸売市場

3月14日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2019年	715	350	316	362	378	大分 32%
	2020年	716	400	381	397	423	鳥取 9%
	2021年	686	461	409	458	525	愛知 9%
	2022年	755	384	374	375	401	静岡 8%
	2023年	712	365	333	361	407	茨城 7%
5ヵ年平均	717	391	362	390	426	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	720	380	360	380	400		
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 大分、鳥取、愛知などから入荷する。各産地、秋冬が終了し、春ねぎの出荷となる見通し。愛知産は越津ねぎが終了し、新ねぎが出揃い順調な出荷見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.1%) 価格：前年をやや上回る。(4.1%)</p>						
しそ	2019年	1,703	214	233	227	184	茨城 44%
	2020年	1,669	240	208	244	272	兵庫 29%
	2021年	1,976	148	130	152	168	長野 11%
	2022年	2,003	187	204	223	152	群馬 6%
	2023年	1,788	203	201	211	197	愛知 3%
5ヵ年平均	1,828	196	194	210	192	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	1,750	200	190	200	210		
しそ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 茨城、兵庫を中心に入荷する。春物中心の入荷で、作付面積は横這いからやや減少の予想。4月上中旬で出荷ピークを迎える見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.1%) 価格：前年並。(△1.5%)</p>						
きゅうり	2019年	2,016	220	243	220	202	愛知 48%
	2020年	1,769	275	301	288	245	群馬 18%
	2021年	1,934	260	266	268	249	宮崎 13%
	2022年	1,610	269	263	255	288	高知 9%
	2023年	1,428	311	329	306	297	鹿児島 6%
5ヵ年平均	1,751	264	277	265	252	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	1,450	283	300	280	270		
きゅうり	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 愛知を中心に群馬、宮崎などから入荷する。4月下旬に向けて各産地ピークになり、価格も徐々に下がる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.5%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(△9.0%)</p>						

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	2019年	4, 178	306	260	321	345	千葉 32%	
	2020年	4, 092	339	329	298	394	埼玉 21%	
	2021年	3, 719	490	448	508	518	茨城 20%	
	2022年	4, 297	346	337	341	358	栃木 10%	
	2023年	3, 842	358	326	340	419	群馬 4%	
	5ヵ年平均	4, 026	365	338	359	404	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	4, 000	350	340	370	340			
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)	
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は千葉、埼玉、茨城となる。中旬は春ねぎが終盤となり減少するが、下旬は夏ねぎの出荷が始まる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(4.1%) 価格：前年をわずかに下回る。(△2.2%)</p>							
し	2019年	6, 819	199	215	223	158	茨城 63%	
	2020年	5, 755	219	194	227	240	兵庫 9%	
	2021年	7, 022	133	115	142	150	群馬 7%	
	2022年	6, 870	176	186	203	145	長野 5%	
	2023年	6, 287	189	185	201	177	栃木 4%	
	5ヵ年平均	6, 551	182	178	198	172	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	6, 300	190	160	220	190			
し	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)	
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は茨城となる。茨城産の入荷量は平年並を見込むが、前進出荷の影響で中旬以降は少なくなる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.2%) 価格：前年並。(0.5%)</p>							
き	2019年	7, 339	229	256	235	197	群馬 28%	
	2020年	6, 932	288	324	296	251	埼玉 23%	
	2021年	7, 417	266	283	271	245	宮崎 17%	
	2022年	6, 726	275	280	268	279	千葉 10%	
	2023年	6, 370	312	344	308	295	茨城 10%	
	5ヵ年平均	6, 957	273	296	275	252	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	6, 400	300	340	280	280			
き	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)	
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は群馬、埼玉等となる。気温上昇とともに十分な出回りとなり、中下旬に入荷量はピークとなる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.5%) 価格：前年をやや下回る。(△3.8%)</p>							

名古屋市中央卸売市場

3月14日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	2019年	851	335	339	333	337	熊本 59%
	2020年	793	376	372	373	383	愛知 36%
	2021年	781	352	352	351	354	高知 4%
	2022年	814	320	328	322	314	宮崎 1%
	2023年	647	358	344	367	369	
	5ヵ年平均	777	347	347	348	350	
	2024年見通し	750	350	350	350	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 熊本、愛知が中心となる。良いナスの日(4/17)にあわせて各量販店で販促が入り、荷動きが活性化する見込み。下旬には宮崎産の出荷が始まる見通し。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(15.9%) 価格：前年をわずかに下回る。(△2.2%)</p>						
ト	2019年	1,612	310	360	322	268	熊本 47%
	2020年	1,267	356	406	355	319	愛知 21%
	2021年	1,559	291	305	284	288	岐阜 17%
	2022年	1,346	324	342	340	301	三重 15%
	2023年	1,217	363	390	356	345	
	5ヵ年平均	1,400	326	358	329	301	
	2024年見通し	1,200	340	380	340	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 熊本を中心に愛知、岐阜などから入荷する。4月上旬から中旬にかけて増量するが、2月下旬の集中した雨天により、4月下旬から5月上旬にかけて減少する可能性あり。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.4%) 価格：前年をかなり下回る。(△6.3%)</p>						
ミニ	2019年	623	625	676	639	568	熊本 67%
	2020年	542	646	721	654	580	愛知 27%
	2021年	754	544	559	526	542	和歌山 4%
	2022年	729	593	622	604	565	宮崎 2%
	2023年	606	613	661	613	565	群馬 1%
	5ヵ年平均	651	600	641	603	563	
	2024年見通し	610	600	650	600	550	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 熊本、愛知を中心に入荷する。小玉中心の出荷となり箱数は減るが、気温も暖かくなり、需要も出てくるため、全体量としては増加傾向。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.7%) 価格：前年をわずかに下回る。(△2.1%)</p>						

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	2019年	3,649	400	408	413	379	高知 55%
	2020年	3,373	443	440	441	448	福岡 19%
	2021年	3,636	413	408	424	408	熊本 8%
	2022年	3,993	343	350	331	349	群馬 7%
	2023年	3,066	423	413	455	403	栃木 3%
	5ヵ年平均	3,543	402	402	409	395	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	3,200	410	410	440	380	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は高知、福岡となる。3月の天候不順が着果量や肥大に影響し、4月に天候が回復しても急激な増量はない。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(4.4%) 価格：前年をやや下回る。(△3.1%)</p>						
ト	2019年	7,288	360	404	376	308	熊本 31%
	2020年	6,132	412	454	407	377	栃木 26%
	2021年	7,346	335	348	323	334	愛知 12%
	2022年	6,808	370	381	384	351	茨城 6%
	2023年	5,829	408	433	400	337	千葉 5%
	5ヵ年平均	6,681	374	401	376	340	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	5,900	390	420	390	360	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は熊本、栃木、愛知となる。入荷量は気温上昇とともに増え、中旬以降は十分な出回りとなる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.2%) 価格：前年をやや下回る。(△4.4%)</p>						
ニ	2019年	2,279	591	660	597	522	熊本 45%
	2020年	2,087	604	661	610	546	愛知 19%
	2021年	2,365	514	528	504	509	宮崎 10%
	2022年	2,278	579	615	592	544	千葉 9%
	2023年	2,095	625	669	615	585	静岡 6%
	5ヵ年平均	2,221	581	625	582	540	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	2,100	610	650	600	580	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は熊本、愛知、宮崎となる。入荷量は気温上昇とともに漸増し、安定した出回りとなる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.2%) 価格：前年をわずかに下回る。(△2.4%)</p>						

名古屋市中央卸売市場

3月14日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2019年	693	426	511	431	364	鹿児島 45%
	2020年	612	631	604	627	613	宮崎 24%
	2021年	712	443	492	430	434	茨城 19%
	2022年	636	429	436	435	439	高知 12%
	2023年	533	547	529	549	591	
	5カ年平均	637	490	513	489	480	
	2024年見通し	555	466	520	450	430	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 鹿児島、宮崎、茨城を中心に入荷する。気温上昇により各産地、肥大が早まり増量傾向。3月下旬からは茨城の入荷も始まる見込み。						
	【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(4.1%) 価格：前年をかなり下回る。(△14.8%)						
じゃがいも	2019年	3,149	143	133	147	146	鹿児島 70%
	2020年	3,439	187	215	173	181	北海道 21%
	2021年	2,890	309	289	316	313	長崎 10%
	2022年	2,736	257	235	274	255	
	2023年	2,213	255	245	321	210	
	5カ年平均	2,885	226	220	238	218	
	2024年見通し	2,800	200	200	200	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 鹿児島を中心に入荷する。鹿児島産は、離島の残量と長島地区の販売となる。長崎産は気温高く生育順調で、平年より10日ほど早い入荷となる見込み。						
	【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に上回る。(26.5%) 価格：前年を大幅に下回る。(△21.6%)						
たまねぎ	2019年	6,387	106	116	102	104	北海道 72%
	2020年	7,506	63	70	64	59	愛知 25%
	2021年	7,771	72	82	69	68	静岡 1%
	2022年	5,071	198	244	154	219	熊本 1%
	2023年	5,636	104	126	98	99	長崎 1%
	5カ年平均	6,474	102	119	93	102	
	2024年見通し	5,500	110	120	110	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 北海道、愛知を中心に入荷する。愛知産は極早生、早生の出荷量が増えてくる。北海道産は減少傾向で、計画的な出荷となる見込み。						
	【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.4%) 価格：前年をやや上回る。(5.8%)						

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2019年	2, 4 2 6	4 8 5	562	480	425	茨城 52%
	2020年	2, 3 9 9	6 4 8	650	650	646	宮崎 26%
	2021年	2, 5 3 0	4 8 0	513	470	457	高知 13%
	2022年	2, 5 1 9	4 8 7	483	490	489	鹿児島 8%
	2023年	2, 3 9 9	5 9 1	547	586	663	沖縄 1%
	5ヵ年平均	2, 4 5 5	5 3 7	550	534	534	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	2, 4 5 0	5 3 0	560	500	530	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 入荷先の主体は茨城、宮崎、高知となる。各産地とも生育順調。中旬以降は潤沢な入荷量となる。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.1%) 価格：前年をかなり下回る。(△10.3%)							
ばれいしょ	2019年	8, 8 8 4	1 3 2	126	133	140	鹿児島 48%
	2020年	1 0, 0 1 3	1 5 8	161	150	163	北海道 41%
	2021年	7, 4 9 1	3 0 1	294	299	309	長崎 11%
	2022年	6, 8 5 5	2 5 5	236	269	257	
	2023年	6, 9 9 6	2 0 4	214	219	214	
	5ヵ年平均	8, 0 4 8	2 0 3	200	206	210	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	7, 9 0 0	1 5 0	140	170	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 入荷先の主体は鹿児島、北海道となる。各産地の入荷が重なり、荷動きが鈍くなると予想される。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(12.9%) 価格：前年を大幅に下回る。(△26.5%)							
たまねぎ	2019年	1 3, 1 8 9	1 2 2	124	126	114	北海道 47%
	2020年	1 4, 2 5 8	5 9	70	64	48	佐賀 43%
	2021年	1 3, 6 5 6	7 9	82	74	81	静岡 3%
	2022年	9, 1 7 3	2 7 4	245	243	334	長崎 3%
	2023年	1 2, 6 2 2	1 1 0	119	107	98	熊本 2%
	5ヵ年平均	1 2, 5 8 0	1 1 8	119	114	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	1 2, 5 0 0	1 2 0	100	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 入荷先の主体は北海道、佐賀となる。入荷は、北海道産は終盤となる一方で、佐賀産は増量が続くピークとなる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.0%) 価格：前年をかなり上回る。(9.1%)							

名古屋市中央卸売市場

3月14日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2019年	6,997	436	419	432	フィリピン 24%	
	2020年	5,854	468	455	469	青森 22%	
	2021年	7,243	415	433	402	熊本 16%	
	2022年	6,926	459	464	473	愛知 10%	
	2023年	6,871	448	453	448	三重 5%	
5カ年平均	6,778	444	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	6,000	530	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 いちご、りんごなどが主な品目となる。りんごは、主力品種のサンふじも終わりに向けさらに少なくなる。産地在庫と売場次第ではさらに価格が上昇する可能性がある。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△12.7%) 価格：前年を大幅に上回る。(18.3%)</p>						
いちご	2019年	924	1,045	1,065	1,054	1,053	愛知 65%
	2020年	706	1,171	1,199	1,188	1,139	熊本 22%
	2021年	824	1,042	1,049	1,012	1,067	鹿児島 5%
	2022年	735	1,091	1,118	1,094	1,065	佐賀 3%
	2023年	693	1,108	1,107	1,117	1,102	福岡 2%
5カ年平均	776	1,087	1,103	1,088	1,083	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	750	1,100	1,100	1,100	1,100		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 愛知を中心に熊本などからも入荷する。生産者間で花芽にバラツキがあるが、4月に入っている程度まとまってくる予想。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(8.2%) 価格：前年並。(△0.7%)</p>						
その他 メロン (アールスメロンを除く)	2019年	236	493	526	482	493	熊本 81%
	2020年	201	530	612	577	503	鹿児島 11%
	2021年	160	521	537	551	556	その他 3%
	2022年	177	603	644	629	590	長崎 1%
	2023年	142	632	709	708	571	メキシコ 1%
5カ年平均	183	549	598	578	537	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	145	650	680	650	630		
その他 メロン (アールスメロンを除く)	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 熊本、鹿児島などから入荷する。熊本各産地4月中旬からスタート。2月の交配期の天候不順から小玉傾向が心配される。上旬、中旬はやや少なめ、下旬より本格化する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.1%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.8%)</p>						

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2019年	26,863	480	490	474	477	青森 22%
	2020年	23,649	502	512	503	490	熊本 16%
	2021年	28,060	467	494	452	450	愛媛 11%
	2022年	23,953	547	547	554	541	栃木 9%
	2023年	23,283	533	533	539	527	フィリピン 6%
	5カ年平均	25,162	504	—	—	—	
	2024年見通し	23,500	545	—	—	—	前年及び本年の入荷量・価格の動き
実計	産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】いちご、メロン類を中心に入荷する。ハウスみかんの入荷が始まるも、生産者減で入荷量を減らす見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.9%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.3%)</p>						
いちご	2019年	4,912	1,096	1,103	1,101	1,079	栃木 48%
	2020年	4,104	1,156	1,172	1,140	1,151	福岡 14%
	2021年	5,055	1,016	1,070	969	984	茨城 11%
	2022年	4,655	1,140	1,180	1,148	1,096	静岡 8%
	2023年	4,309	1,137	1,163	1,137	1,100	佐賀 6%
	5カ年平均	4,607	1,106	1,135	1,095	1,078	
	2024年見通し	4,300	1,130	1,160	1,130	1,100	前年及び本年の入荷量・価格の動き
いちご	産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】栃木を中心に福岡などから入荷する。主力となる栃木は安定した入荷となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.2%) 価格：前年並。(△0.6%)</p>						
その他メロン (アールスメロンを除く)	2019年	735	537	629	568	498	茨城 57%
	2020年	648	530	650	559	497	熊本 30%
	2021年	939	587	706	606	550	ホンジュラス 9%
	2022年	701	667	831	706	630	宮崎 2%
	2023年	605	703	837	739	652	高知 1%
	5カ年平均	726	601	726	631	562	
	2024年見通し	600	767	850	750	700	前年及び本年の入荷量・価格の動き
その他メロン (アールスメロンを除く)	産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】茨城からオトメ、熊本からアンデス、クインシーが入荷する。生育は前進傾向で、4月中旬から入荷ピークの見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.8%) 価格：前年をかなり上回る。(9.1%)</p>						

切花・鉢花の4月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月31日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2019年	1,672	38	
		2020年	1,179	27	
		2021年	1,261	33	
		2022年	1,066	59	
		2023年	956	56	
	5カ年平均	1,227	41		
2024年見通し	1,000	56			
概要	愛知中心の入荷。上旬は入荷量少なめ、中旬からは年末の返しもあり、入荷量は伸びてくる。葬儀需要次第で価格は変動しそう。				
小 ぎ	実績	2019年	980	33	
		2020年	824	21	
		2021年	924	23	
		2022年	856	34	
		2023年	800	30	
	5カ年平均	877	28		
2024年見通し	850	30			
概要	沖縄からの入荷。上旬の入荷は少ないが、中旬以降は年末の返しもあり、入荷量は伸びてくる。価格次第で下位等級の出荷調整も行われると予想される。				
カー ネー ション	実績	2019年	1,246	43	
		2020年	996	32	
		2021年	1,166	54	
		2022年	1,272	62	
		2023年	1,056	51	
	5カ年平均	1,147	49		
2024年見通し	1,100	50			
概要	愛知中心の入荷。県内産は上旬は品薄となるが、中旬以降は増えてくる見込み。輸入の入荷はあるが、量的には落ちついてくる。				
か す み	実績	2019年	182	78	
		2020年	161	55	
		2021年	202	69	
		2022年	215	85	
		2023年	152	91	
	5カ年平均	182	76		
2024年見通し	160	90			
概要	和歌山、高知、熊本からの入荷となる。前進気味の出荷となっており、一時的に谷になる産地もありそうだが、中下旬からは増えていく見込み。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2019年	263	184	
		2020年	231	123	
		2021年	258	160	
		2022年	230	173	
		2023年	226	173	
	5カ年平均	242	163		
2024年見通し	230	170			
概要	オリエンタルは高知、宮崎、埼玉からの入荷。中旬は年末の返しとなる分が出荷され、数量は多くなる見込み。鉄砲は生産が減少しているため、相場の大きな崩れはないと予想される。				
洋らん	実績	2019年	410	73	
		2020年	206	88	
		2021年	272	97	
		2022年	257	141	
		2023年	229	105	
	5カ年平均	275	98		
2024年見通し	230	105			
概要	愛知、徳島、静岡、鹿児島等の国産品に加え、輸入品が入荷する。デンファレはアンナが徐々に減少し、ソニア中心の販売になる見込み。オンシジウムは昨年よりは減少する。シンピジウムは上旬に国産は終了し、輸入に切り替わる、カトリアは入荷減少、コチョウランは輸入横ばいから微増、国内産は気温の上昇とともに微増していく。				
ばら	実績	2019年	727	65	
		2020年	505	56	
		2021年	630	80	
		2022年	740	82	
		2023年	694	71	
	5カ年平均	659	71		
2024年見通し	700	75			
概要	愛知、岐阜、三重、山形、長野から入荷する。輸入品の入荷は1週目以降シーズンオフとなり、落ちついていくが、国内産は中旬以降暖地、高冷地産ともに増えてくる。全体の入荷としては前年並の見込み。				
枝も	実績	2019年	1,348	56	
		2020年	835	49	
		2021年	1,215	59	
		2022年	1,262	65	
		2023年	1,045	61	
	5カ年平均	1,141	58		
2024年見通し	1,100	60			
概要	3月中旬の寒の戻りで予想以上に桜の開花の遅れが見られた。姫リョウブ等も4月10日頃から出荷が始まる予定で、ドウダン等もスタートする。シャクヤク、ベニバナ等の初夏の花も順次出荷が始まる。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラダ	実績	2019年	30,014	459	
		2020年	36,659	430	
		2021年	22,158	704	
		2022年	23,520	755	
		2023年	15,723	694	
	5カ年平均	25,615	576		
	2024年見通し	15,500	710		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。5号鉢中心に中旬より徐々に入荷が増え始め、下旬には出荷のピークとなる。例年同様、花立ちの良いピンク・黄色系に人気が集まり、連休需要の高まる下旬より引き合いが強くなる見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野（43.4%）、2位埼玉（19.2%）、3位三重（9.8%）となっている。</p>				
フアノ	実績	2019年	43,014	3,031	
		2020年	46,450	1,932	
		2021年	43,621	3,026	
		2022年	41,940	2,952	
		2023年	29,682	3,792	
	5カ年平均	40,941	2,875		
	2024年見通し	28,500	3,860		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。円安の影響により苗単価が高く、苗の購入が控え気味になっている。特にミディーについては単価の伸び悩みにより生産量を減らし他の品目を作る生産者もみられる。4月上旬は大輪、4月下旬からは母の日に向けてミディー胡蝶蘭の動きが出る見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（60.5%）、2位静岡（6.8%）、3位宮崎（5.8%）となっている。</p>				
バラ	実績	2019年	64,699	217	
		2020年	76,851	205	
		2021年	83,332	259	
		2022年	83,039	246	
		2023年	60,849	222	
	5カ年平均	73,754	231		
	2024年見通し	60,000	217		
概要	<p>入荷量は概ね前年並か。暖房費や資材費などのコスト上昇で生産減の傾向であるが、4月以降は小鉢主体に順調に入荷する見込みで、中値安定相場と予想される。入荷増とともに価格は下がり気味に。気温変動が激しいので咲き前には注意して出荷をお願いしたい。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（49.9%）、2位岐阜（26.9%）、3位埼玉（12.6%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ ン ジ ア	実績	2019年	1 6 1, 3 3 4	8 2 3	
		2020年	2 2 3, 3 5 9	8 5 3	
		2021年	2 5 8, 7 2 8	9 3 9	
		2022年	2 6 0, 0 6 7	9 0 8	
		2023年	1 4 8, 1 1 9	8 2 9	
	5カ年平均	2 1 0, 3 2 1	8 8 0		
	2024年見通し	1 4 8, 0 0 0	8 2 8		
概要	<p>入荷量は前年並か。母の日が前年より2日早い分4月下旬からの出荷も増えるが、天候による生産ロスと全体の生産減もあり、出荷ピークは5月上旬の見込み。5号サイズが入荷の中心だが、4.5号サイズの生産が増産傾向である。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(59.9%)、2位埼玉(8.8%)、3位群馬(8.3%)となっている。</p>				
ス パ テ イ フ イ ラ ム	実績	2019年	1 9, 9 7 2	3 7 0	
		2020年	2 0, 6 6 1	3 6 5	
		2021年	1 7, 5 5 2	4 4 7	
		2022年	1 7, 0 0 7	4 9 1	
		2023年	1 2, 8 8 4	5 1 1	
	5カ年平均	1 7, 6 1 5	4 2 8		
	2024年見通し	1 2, 6 0 0	5 1 6		
概要	<p>入荷量はわずかに減少か。規格は3号から4号中心の入荷がメイン。資材・燃料費高騰など、生産環境が厳しくなっていることや、生産数量が少ない中で需要期に対する開花調整も難しく、注文比率が上がることで平均単価は前年より上がると予想される。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位静岡(35.8%)、2位三重(34.5%)、3位愛知(14.6%)となっている。</p>				
カ ー ネ ー シ ョ ン	実績	2019年	8 9, 2 4 9	3 5 2	
		2020年	1 3 3, 2 2 1	3 4 9	
		2021年	1 4 4, 0 8 0	4 3 7	
		2022年	1 6 8, 5 3 8	4 9 4	
		2023年	5 4, 2 1 1	4 3 8	
	5カ年平均	1 1 7, 8 6 0	4 2 1		
	2024年見通し	5 5, 0 0 0	4 3 1		
概要	<p>入荷量は暖冬の影響で開花が早まると見込まれ前年より増加か。作付けは減少傾向で相対取引が中心となる。コロナ禍後は需要が減少気味で競売での引き合いは弱含みと予想され、母の日までその傾向が続くと予想される。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(49.6%)、2位埼玉(13.4%)、3位群馬(7.6%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.610
2024年4月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434